

## New Crown 第5回 Lessons

### Lesson 5-1: 助動詞 can 肯定文 (一般動詞編)

助動詞とは動詞だけでは表すことができない「可能」や「必然」を表す単語です。例えば、今回学びます can は、go (行く) という単語につけることで「行くことができる (可能)」「行ってもよい (許可)」という意味を足すことができます (意味の使い分けは文脈によって判断します)。

助動詞は「一般動詞の文」と「be 動詞の文」の両方につけることができますが、今回は一般動詞の文につく形だけを学んでいきます。文の作り方は比較的簡単。なぜなら、一般動詞の文を作り、一般動詞の前に can を足せば完成だからです。そして、助動詞の can は、全ての主語 (I/you/we/they/he/she/it やこれらに言い換えられるもの) で使うことができます。

#### 【助動詞 can 肯定文 (一般動詞編) : 基本の形】

主語 + can + 一般動詞の原形 + ~.

(「主語」は「一般動詞」することができます 【可能】)

(「主語」は「一般動詞」してもいいです 【許可】)

<例> They can read Japanese. (彼らは日本語が読めます) 【可能】

She can go there. (彼女はそこに行ってもいいです) 【許可】

#### 【作り方】

ステップ 1: 主語に関係なく、主語 + 一般動詞 + ~. とした肯定文の形を作る。

ステップ 2: can を一般動詞の前に足す。

#### <例 1: 彼らは日本語が読めます>

ステップ 1: 主語に関係なく、主語 + 一般動詞 + ~. とした肯定文の形を作る。

「彼らは日本語を読みます」

\_\_\_\_\_ They read Japanese.

ステップ 2: can を一般動詞の前に足す。

\_\_\_\_\_ They can read Japanese.

#### <例 2: 彼女はそこに行ってもいいです>

ステップ 1: 主語に関係なく、主語 + 一般動詞 + ~. とした肯定文の形を作る。

「彼女はそこに行きます」

\_\_\_\_\_ She go there.

ステップ 2: can を一般動詞の前に足す。

She can go there.

### Lesson 5-2: 動詞を説明する副詞

動詞を説明する副詞は基本的に「一般動詞（+目的語）」の後に足されます。例えば、一般動詞が study（勉強する）で副詞が hard（熱心に）の場合 study hard の順番で足されます。また、このフレーズに English（英語）という目的語を足し、「英語を熱心に勉強する」とする場合、study English hard となります。そして、副詞によっては very といった「副詞の意味を強調する副詞」を足すこともできます（これは副詞が副詞を説明する形となります）。

#### 【動詞を説明する副詞の足し方：基本の形】

一般動詞（+目的語） + (very) 副詞

<動詞を説明する副詞>

副詞	意味	例文
well	上手に	She can play the piano well. (彼女は上手にピアノを弾けます)
hard	熱心に	They study hard every day. (彼らは、毎日熱心に勉強します)
high	高く	She can jump high. (彼女は高く跳べます)
far	遠く	Ken can jump far. (ケン is 遠くまで跳ぶことができます)
fast	速く (一定して継続的に速い)	You can run very fast. (あなたはとても速く走れます)
*quickly	すばやく / 速く (瞬間的に速い)	Eat this quickly. (これを速く食べて)

\*quickly のように「形容詞 + ly (quick + ly)」で副詞になる形も多い。beautifully など。

### Lesson 5-3: 助動詞 can 否定文（一般動詞編）

基本的に助動詞の肯定文を否定文に変えるには、助動詞の後ろに not を足してあげるだけです。つまり、今回の can の場合、can の後に not を足せば完成となります（can に not を足す場合は cannot と一語になるので注意）。また、cannot を短縮させた can't という形もよく使われます。

【助動詞 can の一般動詞の否定文：基本の形】

主語 + cannot (can't) + 一般動詞の原形 + 。

(主語は～できません)

<例> We cannot (can't) go there now. (私たちはそこに今は行けません)

He cannot (can't) play baseball. (彼は、野球はできません)

【作り方】

ステップ 1: can の肯定文を作る。

ステップ 2: can の部分を cannot / can't に入れ替える。

<例 1：私たちはそこに今は行けません>

ステップ 1: can の肯定文を作る。→ 「私たちはそこに今行けます」

We can go there now.

ステップ 2: can の部分を cannot / can't に入れ替える。

We cannot (can't) go there now.

<例 2：彼は、野球はできません>

ステップ 1: can の肯定文を作る。→ 「彼は、野球はできます」

He can play baseball.

ステップ 2: can の部分を cannot / can't に入れ替える。

He cannot (can't) play baseball.

【ポイント！】

I don't speak Japanese. と I can't speak Japanese. の違い

基本的に「I speak Japanese. = 日常的に日本語を話している」という意味になり「I can speak Japanese.= 日本語を話す能力を持っている」という意味になります。そのため、否定文では「I don't speak Japanese. = 日常的に日本語を使わない」という意味となり、I can't speak Japanese. = 日本語を話す能力がない」という意味になります。

Lesson 5-4: 助動詞 can 疑問文（一般動詞編）

助動詞 can の疑問文は、肯定文の形にした後で、can を文頭に持ってくれば完成となります。つまり、基本的な形に以下のようになります。

【助動詞 can 疑問文：基本の形】

Can + 主語 + 一般動詞 (+目的語) (+～) ?

(「主語」は～できますか) (「主語」は～してもいいですか)

\*Can you ~? は、「～してくれますか」という意味でも使える。

- <例> Can Jim play soccer? (ジムはサッカーができるのですか)  
Can I buy it? (私はそれを買ってもいいですか)  
Can you help me? (私を手伝ってくれますか)

【ポイント！】

会話などでよく登場する Can I help you?

Can I help you? は「私はあなたを助けられますか」という意味ではなく「お手伝いしましょうか」「(お店などで)何かお困りですか」といった意味になります。会話ではよく登場する形なのでぜひ覚えておきましょう！(少し丁寧な言い方で May I help you? という表現もある)

【助動詞 can 疑問文：作り方】

ステップ 1: 助動詞 can の「肯定文」を作る。

ステップ 2: 文頭に Can を持ってきて、最後を ? にする。

<例 1: ジムはサッカーができるのですか>

ステップ 1: 助動詞 can の「肯定文」を作る。 → ジムはサッカーができます。

\_\_\_\_\_ Jim can play soccer.

ステップ 2: 文頭に Can を持ってきて、最後を ? にする。

\_\_\_\_\_ Can Jim play soccer?

<例 2: 私は、それを買ってもいいですか>

ステップ 1: 助動詞 can の「肯定文」を作る。 → 私はそれを買ってもいいです。

\_\_\_\_\_ I can buy it.

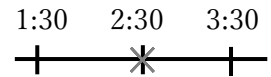
ステップ 2: 文頭に Can を持ってきて、最後を ? にする。

\_\_\_\_\_ Can I buy it?



2. **at** = (～時) に / (～時～分) に / ～に・で (場所)

<ピンポイントで「ここ！」という地点を指すイメージ>



信濃町駅 四谷駅 市ヶ谷駅

<例> I start my class **at** 2:30. (私は私の授業を2時30分に始めます)



We are **at** Yotsuya \*Station. (私たちは四谷駅にいます)

\*「〇〇駅」という場合、基本的に〇〇 Station と s は大文字になるので注意。

**【ポイント！】**

時間を表す副詞やフレーズは単位の小さいものから

時間を表す副詞や前置詞の含まれたフレーズなどが続けて使われる場合は、基本的に単位の小さいものが前にくる。

<例> I have a class **from 3 o'clock today**.

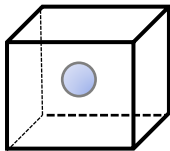
(私は今日の3時から授業があります)

**【in と at の違い】**

**in** = その場所の「中」にいる (ある) 時

**at** = その場所の「一点 (中とは限らない)」にいる (ある) 時

<例1> どこにいるの？



I am **in** my house.

<私は家の中にいます>



I am **at** my house.

<私は家にいます>

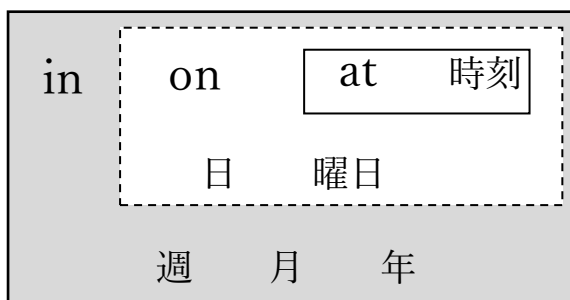
(庭かもしれないし、家の中かもしれない)

また「私は駅にいます」という場合、

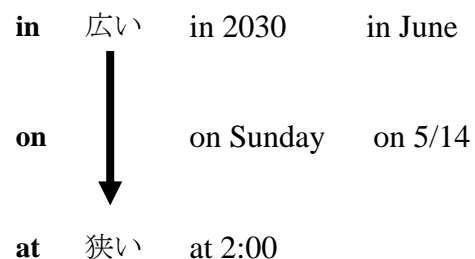
I am **at** the station. (駅の中にいるかもしれないし、駅の外にいるかもしれない)

I am **in** the station. (駅の建物の中にいる)

**【in/on/at と時間の関係】**



**【範囲の広さ】**



## Lesson 5-6: 疑問詞② (How many ○○)

ここでは「どれくらい (たくさん) の○○が～ですか」「いくつの○○が～ですか」という意味の How many ○○ ~? について学んでいきます。「How = どう」「many = たくさん」という意味で、How many とつなげると「どれくらいたくさん」の意味になり、○○の部分には基本的に「可算名詞の複数形」が入ります。基本的な文の形は、What ○○~? の疑問文同様、How many ○○のあとに疑問文を足せば完成となります。

### 【How many を使った疑問文：基本の形】

#### How many \*○○ + 疑問文？

(どれくらいたくさん) の○○が～ですか

(いくつ) の○○が～ですか

\*基本的に「○○」には、可算名詞の複数形が入る。

- <例> How many pens do you have? (あなたは**何本のペン**を持っていますか)  
How many students do they teach? (何人の**生徒**を彼らは**教えている**のですか)

### 【How many ○○～? を使った疑問文の作り方】

- ステップ 1: 「どれくらい○○」の部分に**同じ種類の「適当な単語」**を入れて疑問文を作る。  
ステップ 2: 入れた「適当な単語」を **how many** に戻す。  
ステップ 3: How many を**文の先頭**に持ってくる。

<例：あなたは**何本のペン**を持っていますか>

ステップ 1: 「どれくらい○○」の部分に**同じ種類の「適当な単語」**を入れて疑問文を作る。

「何本のペン」の部分「5本のペン」に変える

→ 「あなたは**5本のペン**を持っていますか」

Do you have **five pens**?

ステップ 2: 入れた「適当な単語」を **when** に戻す。

five pens → **how many pens** に戻す。

Do you have **how many pens**?

ステップ 3: How many を**文の先頭**に持ってくる。

**How many pens** do you have?